

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2003-500103

(P2003-500103A)

(43) 公表日 平成15年1月7日 (2003.1.7)

(51) Int.Cl. ¹	識別記号	P I	フリーワード (参考)
A 6 1 M 29/02		A 6 1 M 29/02	4 C 0 8 1
A 6 1 L 31/00		A 6 1 L 31/00	C 4 C 1 6 7

検査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 23 頁)

(21) 出願番号 特願2000-619370 (P2000-619370)
 (86) (22) 出願日 平成12年5月18日 (2000.5.18)
 (85) 翻訳文提出日 平成13年11月12日 (2001.11.12)
 (86) 国際出願番号 PCT/US 00/13666
 (87) 国際公開番号 WO 00/071057
 (87) 国際公開日 平成12年11月30日 (2000.11.30)
 (31) 優先権主張番号 60/135,031
 (32) 優先日 平成11年5月20日 (1999.5.20)
 (33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 ボストン サイエнтиフィック リミテッド
 Boston Scientific Limited
 バルバドス、セント・マイケル、ベイ・ストリート、ブッシュ・ヒル、ザ・コーポレート・センター
 (72) 発明者 ゴールズ エレン
 アメリカ合衆国 ニューヨーク州 10708
 ハスティング オン ハドソン サウス ドライヴ 32
 (74) 代理人 弁理士 中村 絵 (外9名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 可撓性の増大したステント-移植片

(57) 【要約】

内側 P T F E 管状構造物 (4) と、該内側 P T F E 管状構造物のまわりに位置決めされた外側 P T F E 管状構造物 (6) と、前記内側 P T F E 管状構造物と外側 P T F E 管状構造物との間に介在した直径方向に変形可能なステント (2) と、を有する複合ステント-移植片管状補綴物 (10) である。前記介在したステントは、複数の長手方向に間隔を隔てた巻きで開放管状形態にらせん状に巻かれた細長いワイヤ (12) によって形成される。前記巻きの各々は、連続した上方波状頂部 (14) 及び下方波状頂部 (16) を有する。該上方頂部及び下方頂部の選択的なものは、前記補綴物の長手方向可撓性を高めるために、前記外側 P T F E 構造物 (6) の外部に露出される。

